

比企丘陵ソングライン

私たちのルーツ×アート

展覧会

参加無料

11/30(土)~12/1(日) 開

11:00~17:00

2日目は~16:00

生き生き活動センター

多世代交流ホール・会議室1

埼玉県比企郡ときがわ町大字玉川2515

むかし、里山の奥には「山の神様」がいました。
春には田んぼに降りてきて「田の神様」として
米づくりを見まもり、子どもたちと遊び、
動物たちを使って人々にメッセージを伝えていました。
村人は豊作を祝ってお祭りをし、神様にお供えをしました。
私たちはこの物語に学んで、現代風のアート展覧会としてみました。

アートおそなえ工作

朗読会

「比企丘陵ソングライン」

思い出の道具を語る

ティーパーティー

主催：沼タイズ実行委員会

助成：真如苑 市民活動助成事業

協力：Honey Bee House

ソングラインの原型はアボリジニの口承文化で、祖先のたどった道筋を、神話や物語で語りながら、歌や踊り、絵画、儀礼や食文化をとおして伝えるものです。

本展では、比企丘陵の生態系と生活文化をリサーチし、現代に生きる人びとの思いを織り交ぜながら、作品展示や、朗読会、体験ワークショップをおこないます。人類がこれからもこの自然と共生していくために、何が大切なのか、何ができるのか、考えるきっかけになればと願います。

嵯峨創平（ヤマノカゼ舎主宰、景観生態学研究者）
「比企丘陵ソングライン2022～2024」15点：比企丘陵のため池文化を、生態学・民俗学的手法でフィールド調査し、ソングラインになぞらえた短編連作物語を創作。物語をとおして風景を再発見する体験型アートを楽しんでください。

楊英美（ワークショップファシリテーター）
「水は神を宿す」絵画作品の展示：比企地域に移住して子どもの居場所運営や、持続可能な地域づくりに関わる。里山の暮らし、子育てを経験し、2024年から絵を描きはじめる。



アートおそなえワークショップ

① 両日（随時）

お米づくりの道具や、自分だけの宝物、何でもOK！巨大アートをみんなで作ろう。紙や空き箱などを使ってオブジェを作ります。会期中は展示して、後日お焚き上げの予定です。

比企丘陵ソングライン「朗読会」

① 両日11:00～、14:00～(40分程度)

比企丘陵の生き物・ため池農業・先人の知恵を物語化した15篇の連作短編から数篇を選んで音楽とともに語ります。
*伴奏音楽のパフォーマーも出演予定

思い出の道具をかたるティーパーティ

① 両日（随時）

あなたの思い出の「生活用具」のスマホ写真を撮ってきてください。会場にはときがわ町の「古い民具」も展示してあります。お茶を飲みながら「モノ語り」をして、会場に写真と思い出を増やしていきます！

プレイベント（別会場） *詳しくは右のQRコードからイベント案内をみて申し込んでください（無料）

鑑賞ワークショップ 「田の神／山の神の風景をたどる」

日時：11月23日（土）13時15分～15時15分
会場：ときがわ町玉川地区（春日神社の社）
現地集合・解散：ふれあいの里たまがわ

沼の生態系を知る 「秋の鳥さんぽ」

日時：11月24日（日）9時～11時
会場：熊谷市小江川「農福連携園場」を目印に現地集合解散



会場 生き生き活動センター
交通 JR八高線明覚駅から徒歩15分／東武東上線武蔵嵐山駅から、イーグルバスせせらぎバスセンター行き「ときがわ町役場本庁舎」下車徒歩1分／車で、関越自動車道東松山インターから20分

<https://sites.google.com/view/hikisongline2024>

メールアドレス: sosaga01@gmail.com

☎ 090-7732-3680 (嵯峨)

☎ 090-3530-4565(楊)

